

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成22年>>

<週報> 第39週 (平成22年 9月27日 ~ 10月 3日)

発行日: 平成22年10月 6日

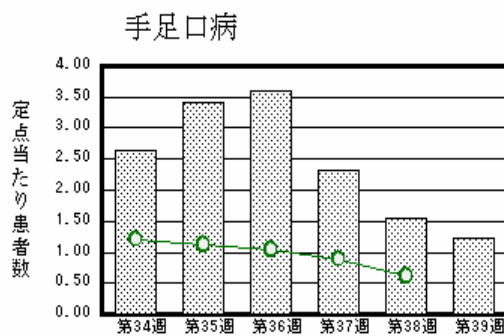
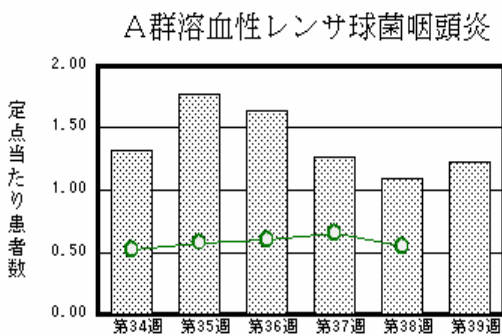
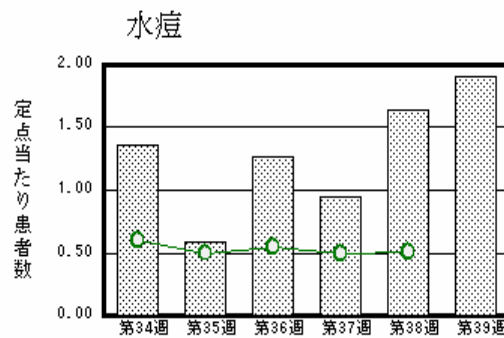
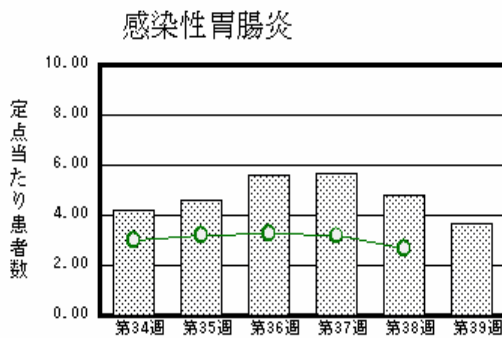
発行: 福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎80名(3.64名) 水痘42名(1.91名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎27名(1.23名) 手足口病27名(1.23名) 伝染性紅斑18名(0.82名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(80名) 水痘(42名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(27名) 手足口病(27名) 伝染性紅斑(18名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は80名です。定点当たり報告数は減少しました(4.82名 3.64名)。地域別にみると、福井地区6.57名、丹南地区4.00名、坂井地区2.00名、奥越地区1.50名、二州地区1.00名、若狭地区1.00名の順となっています。
- 【水痘】報告数は42名です。定点当たり報告数は増加しました(1.64名 1.91名)。地域別にみると、奥越地区5.50名、二州地区3.33名、福井地区2.29名、坂井地区1.00名、丹南地区0.40名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は27名です。定点当たり報告数は増加しました(1.09名 1.23名)。地域別にみると、奥越地区4.00名、二州地区1.33名、丹南地区1.20名、福井地区1.00名、坂井地区0.67名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は27名です。定点当たり報告数は減少しました(1.55名 1.23名)。地域別にみると、丹南地区1.80名、奥越地区1.50名、福井地区1.14名、二州地区1.00名、若狭地区1.00名、坂井地区0.67名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2010年第37週号(9月13日 ~ 9月19日)要点

発生動向総覧	<第37週> 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 第37週までの累積報告数3,226例は、2000年以降の各年同期間の累積報告数と比較して2001年、2008年、2007年に次いで4番目に多い報告数である
病原体情報	麻疹ウイルス2010年/インフルエンザウイルス2009/10 シーズン
速報	2009/10 シーズン夏季のインフルエンザ検出状況 - 沖縄県
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:結核1名の報告がありました。
(なお、結核は38週に2名の報告がありました)
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成22年 第39週 平成22年9月27日(月)～平成22年10月3日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(38週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	1 0.09					3 0.38	4 0.13		202 0.04
小児科 (22)	RSウイルス感染症									715 0.24
	咽頭結膜熱	2 0.29	1 0.33	2 0.67	1 0.50	2 1.00	2 0.40	10 0.45	4 0.18	662 0.22
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.00	2 0.67	4 1.33		8 4.00	6 1.20	27 1.23	24 1.09	1671 0.55
	感染性胃腸炎	46 6.57	6 2.00	3 1.00	2 1.00	3 1.50	20 4.00	80 3.64	106 4.82	8060 2.67
	水痘	16 2.29	3 1.00	10 3.33		11 5.50	2 0.40	42 1.91	36 1.64	1537 0.51
	手足口病	8 1.14	2 0.67	3 1.00	2 1.00	3 1.50	9 1.80	27 1.23	34 1.55	1867 0.62
	伝染性紅斑	11 1.57	1 0.33	3 1.00			3 0.60	18 0.82	19 0.86	615 0.20
	突発性発しん	2 0.29	2 0.67	3 1.00		1 0.50	2 0.40	10 0.45	7 0.32	1718 0.57
	百日咳								2 0.09	71 0.02
	ヘルパンギーナ	2 0.29						2 0.09	4 0.18	908 0.30
流行性耳下腺炎	2 0.29	1 0.33	9 3.00	3 1.50	1 0.50	2 0.40	18 0.82	13 0.59	2916 0.97	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*	*				11 0.02
	流行性角結膜炎								4 1.33	458 0.67
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									10 0.02
	無菌性髄膜炎		*							24 0.05
	マイコプラズマ肺炎				1 1.00			1 0.17	4 0.67	154 0.34
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									14 0.03

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成22年第39週 平成22年9月27日(月)～平成22年10月3日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	
～5ヶ月		～5ヶ月				3	1	1		1				～5ヶ月							
～11ヶ月		～11ヶ月		1		7	4	4	1	5				～11ヶ月							
1歳		1歳		3	2	13	10	10	1	2		1	2	1歳							
2歳		2歳				11	9	2					3	2歳							
3歳		3歳		1	4	8	4	2	3	1		1	4	3歳							
4歳		4歳		4	5	6	5	4	3				2	4歳							
5歳		5歳			9	1	4	2	4				1	5歳							
6歳		6歳			4	2		1	3				2	6歳							
7歳		7歳		1	1	9	1	1					2	7歳							
8歳	1	8歳			2	3	1		1					8歳							
9歳		9歳				3			1	1				9歳							
10～14歳		10～14歳				9							1	10～14歳							
15～19歳		15～19歳				3	1							15～19歳							
20～29歳	2	20歳以上				2	2		1				1	20～29歳							
30～39歳														30～39歳							
40～49歳														40～49歳							
50～59歳														50～59歳							
60～69歳	1													60～69歳							
70～79歳														70歳以上							
80歳以上																					
合計	4	合計		10	27	80	42	27	18	10		2	18	合計							
前期計		前期計		4	24	106	36	34	19	7	2	4	13	前期計		4					4
当期間/前期	***	当期間/前期	***	2.5	1.13	0.75	1.17	0.79	0.95	1.43		0.5	1.38	当期間/前期	***		***	***			***
増減数	4	増減数		6	3	-26	6	-7	-1	3	-2	-2	5	増減数		-4					-4

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき